

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断		
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3
24UPSB2084	心理学実験	2	心理学の基礎的な研究方法（実験法や観察法等）に習熟し、実習を通して卒業研究に資する方法論的基礎（仮説立案、研究計画、研究方法、統計分析とその解釈）を形成することを目的とする。	1. 実証的研究の実践に関する基礎的スキルを身につける。 2. データの収集および処理を適切に行う基礎的スキルを身につける。 3. 研究計画を立てる基礎的スキルを身につける。 4. 結果について適切な解釈ができ、報告書を作成する基礎的スキルを身につける。 5. 統計に関する基礎的な知識を有し、研究に必要な情報収集スキルの基礎を身につける。		○		◎	◎	◎	○	○	○
24UPSB2094	社会調査概論	2	社会調査に関する基本的事項について学び、社会調査の企画から報告書作成まで、一連のプロセスを理解することを目的とする。また、社会調査の歴史や諸類型、社会調査の目的や方法論について学ぶ。データ収集から分析までの過程に関する基本的事項を身につけ、社会調査を実施するための一連のプロセスについて理解を深める。	1. 社会調査の歴史や類型等、基礎的な知識を身につける。 2. 社会調査の一連のプロセスを理解できる。 3. 社会調査のプロセスにおける基本的事項を理解できる。	○	◎	○						
24UPSB2104	社会調査実習	2	社会調査に必要な実践力を身につけることを目的とする。これまでに習得した社会調査と統計分析の知識を用いて、社会調査の一連のプロセスを体験的に学ぶ。また、総括としての口頭発表および質疑応答を経験することで、高いプレゼンテーション能力とディスカッション能力の習得を目指す。	1. 社会調査に必要な資料を収集・分析するスキルを身につける。 2. 社会調査に関連する事柄について発表・議論できる。 3. 社会調査のテーマを正しく設定できる。 4. 質問項目を正しく作成し実施するスキルを身につける。 5. 分析結果について適切な解釈ができ、報告書を作成する基礎的スキルを身につける。			○	◎	◎	◎	○	○	○
24UPSB2114	心理学日本語文献講読	2	心理学のテーマを扱った日本語論文の読み方と読解の基礎について学び、心理学研究における研究の考え方を理解するためのスキルを獲得することを目的とする。心理学および関連学問分野の研究論文の収集や整理とともに、論文における作法や背景となる知識等についても理解を深める。	1. 心理学分野の日本語論文の内容を理解できる。 2. 心理学分野の日本語論文の収集・整理ができる。 3. 心理学分野の日本語論文の構成や作法を理解できる。	○	◎	○	○	○	○			
24UPSB2124	心理学英語文献講読	2	心理学のテーマを扱った英語論文の読み方と読解の基礎について学び、心理学研究における研究の考え方を理解するためのスキルを獲得することを目的とする。心理学および関連学問分野の研究論文の収集や整理とともに、論文における作法や背景となる知識等についても理解を深める。	1. 心理学分野の英語論文の内容を理解できる。 2. 心理学分野の英語論文の収集・整理ができる。 3. 心理学分野の英語論文の構成や作法を理解できる。	○	◎	○	○	○	○			
24UPSB2134	心理学統計法	2	心理学や社会科学で用いられる統計手法について理解することを目的とする。データやグラフの読み方を含む統計学的基礎概念や、実験・調査の方法論的概念を学ぶとともに、心理学的研究で必要となる記述統計および基礎的な統計処理手法について具体的な研究データの分析例を通して理解する。	1. 統計に関する基礎的な知識を身につける。 2. 心理学や社会科学で用いられる基礎的な統計手法について概説できる。 3. 検定に関する基礎的な知識を身につける。	○	◎	○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断							
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3					
24UPSB3053	消費者心理学	3	人々の消費行動における、意思決定に関わる社会心理学的メカニズムについて理解することを目的とする。マーケティングの基礎概念および購買行動についての考察を通して、多面的に消費行動を捉える能力を身につける。	1. マーケティングの基本的な考え方を理解できる。 2. 消費者行動理解における心理学的観点からのアプローチの重要性を理解できる。 3. 心理学に限らず、関連分野にも視野を広げ多面的に消費者行動をとらえようとする姿勢を持つことができる。	◎	○	○											
24UPSB3064	データ解析法	3	「心理学統計法」および「応用心理学統計法」を履修した学生が、より高度な多変量解析法を身につけることを目的とする。多変量解析の基本的な考え方や、主要な統計モデルの具体的な分析方法と得られる統計量の解釈について、演習形式を併用しながら学ぶ。	1. 多変量解析の基礎的知識を身につける。 2. 主要な多変量解析の手法を身につける。 3. 多変量解析の分析結果を解釈できる。	○	◎	○	○										
24UPSB3074	質的データ解析法	3	「心理学統計法」および「応用心理学統計法」を履修した学生が、質的データに特化したデータ収集方法や分析方法を身につけることを目的とする。質的データの収集方法や得られたデータの分析手法、分析結果の解釈について演習形式を併用しながら学ぶ。	1. 質的データの収集方法を身につける。 2. 質的データの主要な分析方法を身につける。 3. 質的データの分析結果を解釈できる。	○	◎	○	○										
24UPSB3082	心理的アセスメント(概論)	3	心理的アセスメント(心理査定)についての基本的な知識を身につけることを目的とする。心理査定、観察および面接の目的や倫理、方法や関わり等を身につけ、心理的支援に必要なクライアントを理解する際の観点を学ぶ。また、心理検査の基本的な性質も講義形式で学ぶ。	1. 心理的アセスメントの目的および倫理について理解し、概説できる。 2. 心理的アセスメントの観点および展開について理解し、概説できる。 3. 心理的アセスメントの方法(観察、面接および心理検査)について理解し、概説できる。	◎	○	○											
24UPSB3092	心理的アセスメント(実習)	3	心理的アセスメントを実際に実施し、アセスメントの実施方法、目的、結果の解釈方法を理解することを目的とする。さらに心理的アセスメントの有効性と限界について学ぶことにより、心理的アセスメントについての理解を深める。	1. 心理的アセスメントの目的および倫理を理解したうえで、正しい方法で実施することができる。 2. 適切に記録、報告、振り返りを行うことができる。 3. アセスメント結果を理解し、適切な報告書を作成できる。	○	○	○	◎	○	○								
24UPSB3103	社会実践実習Ⅰ	3	実践的な学びを通して、プロジェクトおよびプロジェクトマネジメントに関する知識を得ることを目的とする。課題を設定し、対策立案を行い、実行する一連のプロセスについて、プロジェクトチームとしての活動を通して実践的に学ぶ。	1. チーム活動を通して、プロジェクトの状況把握ができる。 2. チーム活動を通して、問題の抽出、分析、原因追求ができる。 3. チーム活動を通して、対策や再発防止策を立案できる。 4. チーム活動を通して、コミュニケーションやチームワークの重要性を理解できる。										○	○	◎	◎	◎
24UPSB3113	社会実践実習Ⅱ	3	企業見学等を通して、心理学科での学びが実社会での活動において、どのように活かされているかを自ら発見することを目的とする。また、企業見学等に加え、その準備学習や事前指導を通して、企業活動について理解を深めるとともに、ビジネスマナーを身につける。	1. 現場において必要とされる知識や技能について理解できる。 2. 現場において必要とされる知識や技能を大学での学習に役立てることができる。 3. 将来の進路について考え、自らのキャリアをデザインすることができる。 4. ビジネスマナーの基本を身につける。				○		○	○			◎	◎	◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3						
24UPSB3122	福祉心理学	3	福祉現場において生じる諸問題について、その背景を心理的・社会的観点から理解することを目的とする。社会福祉の対象となる人びとに対する支援を心理学的観点から考える。	1. 福祉現場において生じる問題およびその背景について概説できる。 2. 福祉現場における心理社会的課題および必要な支援方法について概説できる。 3. 虐待についての基本的知識と必要な支援について概説できる。 4. 高齢者の心理社会的課題および必要な支援について概説できる。	◎	○	○							
24UPSB3132	産業・組織心理学	3	産業・組織心理学や組織行動学の知見をもとに、職場や組織における人間行動について理解することを目的とする。組織や職場における心理学的問題と支援方法についても学ぶ。	1. 職場（キャリア形成に関することを含む）における問題に対して必要な心理支援およびその方法を概説できる。 2. 組織における人の行動について概説できる。	◎	○	○							
24UPSB3142	関係行政論	3	公認心理師に求められる法律・制度の知識を身につけることを目的とする。公認心理師が関連する他分野（保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働）における法律、制度を学ぶ。	1. 保健医療分野に関係のある法律、制度について概説できる。 2. 福祉分野に関係のある法律、制度について概説できる。 3. 教育分野に関係のある法律、制度について概説できる。 4. 司法・犯罪分野に関係のある法律、制度について概説できる。 5. 産業・労働分野に関係のある法律、制度について概説できる。	◎	○	○							
24UPSB3153	マーケティング論	3	製品戦略、事業戦略、企業戦略へと拡大しているマーケティング活動に関する実践的なマネジメントのノウハウを身につけることを目的とする。マーケティング・コンセプトの歴史的発展過程を学んだのち、マーケティング戦略として、4Pを用いたマーケティング・ミックス戦略、ブランド戦略、価格戦略、広告戦略について、具体的事例を通じて学ぶ。	1. マーケティング・コンセプトの歴史的発展過程を概説できる。 2. 主要なマーケティング戦略を概説できる。 3. マーケティング活動に関する実践的なマネジメントを理解できる。	◎	○	○							
24UPSB3163	感性心理学	3	感性とは何かを理解することを目的とする。知覚心理学や認知心理学、感性工学や人間工学等から多面的に人の感性心理情報を学ぶ。そして、人の主観や感性に基づく印象評価データから印象評価法の基礎を学ぶ。	1. 人の感性について理解できる。 2. 人の感性研究の基本的な手法を理解できる。 3. 人の感性的特性を理解した上で、感性科学の技術開発の有用性を理解できる。	◎	○	○							
24UPSB3173	臨床社会心理学	3	臨床的問題に対して社会心理学的視点から理解し、アセスメントや実践の方法を学ぶことを目的とする。不適応状態の発生や持続のメカニズムの解明に関わる社会心理学的現象や理論、方法論について学ぶ。	1. 不適応状態の発生や持続のメカニズムの解明に関わる社会心理学的現象や理論、方法論について理解し、概説できる。 2. 不適応への介入に関して、社会心理学的視点を取り入れたアセスメントや実践の方法論を理解できる。	◎	○	○							
24UPSB3182	心理演習	3	心理に関する支援を要する者等の支援についての知識および技能の基本的水準の修得を目的とする。具体的な場面を想定したロールプレイや事例検討を通して、これらの知識および技能を学ぶ。	1. 心理に関する支援を要する者等に関する①コミュニケーション、②心理検査、③心理面接、④地域支援等の知識および技能を身につける。 2. 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握および支援計画の作成について理解できる。 3. 心理に関する支援を要する者等の現実生活を視野に入れたチームアプローチについて理解できる。 4. 多職種連携および地域連携のあり方について理解できる。 5. 公認心理師としての職業倫理および法的義務について理解できる。	○		○		◎	◎	○	○	○	
24UPSB4012	心理実習	4	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野等における施設において、見学等による実習を行いながら、心理に関する支援を要する者への支援の実際について体験的に学ぶことを目的とする。	1. 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて理解できる。 2. 多職種連携および地域連携の実際について理解できる。 3. 公認心理師としての職業倫理および法的義務について理解できる。	○		○		○	○	◎	◎	◎	

